集落活性化支援事業

区分継続	経費区分	政策的経費	要求上限	内		剖	『局名		地域戦略部	3	課名	市	町協働課		課長名	小林	弥生
事業主体	市町			市 改		自	治	事務			実行予算	事業	H30	年度	事業終了		
事業実施方法	補助			事務区分					事業区分	•	補 助 金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	県1/2、市	町1/2		- "		法定	受討	事務	?		その他	年度	2	年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 政 策	(安心を高める(ふるさとの事	る(地域力) 暮らしと風景の維持]		関連す	る県 <i>0</i>	計画等	(ふくい創生	・人口減	少対策戦略	各)	
[事業目的]																	

平成29年度に実施した集落実態調査から、将来に不安があるものの対応策がわからない、集落活動の担い手が足りないなどの課題が明らかとなった。今後人口減 少・高齢化がさらに進展し、集落機能の低下が懸念されることから、市町が、将来にわたる集落機能の維持・活性化を目的として策定する「集落活性化計画」に基づ き実施する施策を支援し、集落活動の活性化を図る。

[事業内容]

- ① 実施主体 市町
- ② 補助率
 県 1/2 (市町 1/2)

 ③ 補助上限額
 30,000千円/市町
- ④ 補助対象期間 5年間
- ⑤ 計画内容 ・担い手の育成(壮年会メンバーなど担い手候補者を対象とした地域課題に応じた研修)
 - ・小規模・高齢化集落の機能維持・確保策(複数集落による環境美化などの共同活動)
 - ・地域の実状に応じ、市町が独自に企画立案した地域の集落活性化策
- ⑥ 事業期間 平成30年度~令和4年度

[受益者] 地域住民	、地域づくり団体など	[想定される受益者数] -	
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)		市町も県と合わせて1/2負担するほか、運営を担う地域づくり 団体等への支援を行うことにより県と協働して事業を実施する。

[事業の評価]

前年度の実績	実績を踏まえた令和2年度の変更点
全ての市町が集落活性化計画を策定し、担い手育成のための研修 会の開催、複数集落での除雪機の購入、コミュニティバスの運行な どの集落機能の維持・活性化を目的とした事業に着手した。	

集落活性化支援事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	上限	内		部局名	í	地域戦略部	3	課名	市	町協働課		課長名	小林	弥生
事業主	主体	市町						•	自 治	事 務			実行予算	事業	H30	年度			
事業実施	拖方法	補助					事務区分				事業区分	•	補 助 金	開始	経過年数	攵	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	県1/2	、市町1/2						法定受	託事務		╻	その他	年度	2	年	度)		
区分	事	 業費	国原	Į.	起 [·]	債	そ	の他		一 角				国月	車、その作	也財源の	2名称等		
マ体却																			
予算額		122, 412		61, 206							61, 206								
[予算額の推	 [移等]	122, 112	I	01,200			I				,							(単位	: 千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度							実績等を	と踏まえた	: 2 年度の	変更点		· · · · · ·	,
<u> </u>	首初予算	額の推	 移	64, 000	117, 348	122, 412													
2 月	現計予	算額の	 推 移	37, 768	78, 022														
	決 算 額	の推移		33, 834															
				1			I		I										
36 6 -																			
前年度ま 主な増減																			
	~																		
- 15 - 11 - 1 - 44																			
[成果指標等							l	Ι .											
	区	分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4 1	丰度				目標・	指標の考え	え方・積算	草根拠			
成果指標			(目標)											るため、	統一した	目標数値	直の設定が困難	性である	が、採
			実績						1.	丌9つ⇒	事業ごとに設	延し	J (1) (
活動指標	 計画策定る	を行った市田	竹数 (目標)	(17)					3	平成3(0年度までに	全市	 ち町が計画を	策定し、	事業を推済	焦			
			実績	17								_							
													無						
														業名					
									田田 1井	古坐人	左 無	(1	役割分担)						
他県の	状況	石川県、富	山県とも該当	なし					関連	學業0. 役割分)有無・ }担								

新福井ふるさと茶屋支援事業

区分	継続		経費区	分	政策的経費	要求上限	内			部局	名	j	地域戦略部		課名	市	町協働課		課長名	小林	弥生
事業主		市町補具		集落の	自治会の連合組織	、地域づくり団体など	事務	•	l 自	治	事	務	事業区分	□	実行予算補 助 金	事業開始	H30 経過年数	年度	事業終了 予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	県 2	2/3、	市町	1/3		- "		法	定受	託事	務	E /1		その他	年度	2	年 度)			
福井県長期における位		خ تا	分 野		安心を高める ふるさとの暮	る(地域力) 暮らしと風景の維持)		関連	する	県の	計画等	(ふくい創生	・人口減	少対策戦略	ķ.)	
[事業目的]																					

概ね小学校区単位の地域において、空き家等を活用し、住民が寄り合う拠点整備や活動経費を支援することにより、地域の「つながり力」を強化し、意欲ある集落

______ [事業内容]

小学校区などを単位として、市町と地域住民が作成した実行プランを基に福井ふるさと茶屋を整備・利活用する経費を支援

(1)対象経費 [ハード]ふるさと茶屋の整備(施設改修の設計費、工事費)

〔ソフト〕ふるさと茶屋の活動経費(特産品開発・農作業体験・健康教室の開催経費等)

(2)補助対象期間 2か年

の活動をさらに促進する。

- (3) 事業主体 市町、複数集落の自治会の連合組織、地域づくり団体など
- (4)補助上限額 〔ハード〕

空き家等の改修 補助上限額 10,000千円/地区(補助率:県2/3、市町1/3) 公共施設の改修 補助上限額 30,000千円/地区(補助率:県1/2、市町1/2)

[ソフト]

茶屋の活動経費 補助上限額 6.000千円/地区(補助率:県2/3、市町1/3)

[受益者] 地域住民、	地域づくり団体など	[想定される受益者数] -	
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)		市町も県と合せて1/3補助するほか、小学校区単位などの地域において住民が寄り合う場所や地元の農産物販売などを行う拠点につなげるため県と協働して事業を実施する。

[事業の評価]

前年度の実績	実績を踏まえた令和2年度の変更点
坂井市三国湊地区において蔵を活用した食の拠点整備など、計 5 地区の活動経費を支援した。	

新福井ふるさと茶屋支援事業

区分	継続	経費[区分 政策	的経費	要求	上限	内		部)	局名	地域單	戦略部		課名	市	町協働課		課長名	小林	弥生
事業主	E体	市町、複数	数集落の自治会	の連合組織	、地域づく	り団体など			自	治事				実行予算	事業	H30	年度			
事業実施	拖方法	補助					事 務区分				事 区	業分		補助金	開始	経過年数	女	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	県2/3	、市町1/3						法 定	受託事				その他	年度	2	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ē	起·	債	そ	の他		-	-般財源				国厂	車、その位	也財源σ)名称等		
予算額		25, 000		12, 500							1	2, 500								
[予算額の推	 移等]	20,000		12,000	1		I					_,							(単位	: 千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度								実績等を	と踏まえた	: 2 年度の	変更点		<u> </u>	
当	首初 予 算	額の推	 移	36, 000	48, 000	25, 000														
2 月]現計予	算額の	 推 移	34, 176	28, 185		<u> </u>													
	決 算 額	の推移		33, 936																
前年度ま 主な増減 [成果指標等	越理由																			
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度	3年度	4:	年度					目標・	指標の考え	え方・積算	草根拠			
成果指標			(目標)																	
活動指標	改修数		(目標) 実績	5					_	目標均	地区数:	2 0 地	区							
他県の	状況								ļ		の有無・ 分担		□(役		拿業名					

次世代コミュニティモデル事業

区分新規	経費区分 政策的経費	要求上限	3	部局名	地域戦略部		課名	市	町協働課		課長名	小林	弥生
事業主体	市町・自治会など	本 3		自 治 事	務		実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施方法	補助	事 務			Ⅰ 争 耒 Ⅰ 区 分		補助金	開始	経過年数	•	予定年度 (見直し年	R6	年度
補助率	県10/10	- 2 %		法定受託事	務		その他	年度	0	年	度)		
福井県長期ビジョン	分野 〔 安心を高める(対	地域力))	関連する	目の計画生	r	ことい創生	. l 口油	小分类形式	Ż.		ו	
における位置付け	政 策 〔 ふるさとの暮ら	しと風景の維持]		る県の計画等		ふくい問エ	、くい創生・人口減少対策戦略		ī		ر	

[事業目的]

人口減少・高齢化により集落の維持が困難となる状況の中、少人数の集落でも「住民自治」による持続可能な互助コミュニティを実現するため、既存のシェアサー ビスや地域に根差した企業(郵便局、生協等)等の民間サービスを活用した地域課題解決策の検討・実証を行い、他の地域に展開できるようノウハウを構築する。

[事業内容]

(1) モデル地区における地域課題解決策への支援

地域が実施する、地域外人材の活用や民間企業との連携による地域課題解決の取組に対し初期費用を支援 「取組例:シェアサービスを活用した地域内のつながり維持や地域外の人材呼び込みの実施、生協や郵便局等の配送業務の受託]

- ・実施主体 市町・自治会(地域課題解決策の構想を公募し決定)
- ·期 間 3年間
- 補助上限額 8,000千円(3年間)
- 取組内容
- ① 事業計画の策定

地域住民に対する民間サービス利用に向けた説明と課題把握、事業実施計画の策定

② 実施体制の構築

地域課題解決策の実施に向けた準備(組織体制の見直し、企画内容の磨き上げ、必要備品の整備等)

③ 地域課題解決策の実施・検証

課題解決策の実施によるサービスの有用性の確認、方法の改善等

(2) 次年度以降のモデル地区選定

市町に対してのヒアリングや地域での協議を行い、モデル事業実施地区を公募し決定

■ 無 □ 有 事業名 (実績) 市町との連携状況 地域が民間企業を活用した地域課題を解決する取り組みを県と市町が協働して支援	[受益者] 地域住民、	地域づくり団体など	[想定される受益者数] -	
	前事業の有無・実績	□ 有 事業名		

[事業の評価]

前年度の実績	実績を踏まえた令和2年度の変更点

次世代コミュニティモデル事業

区分	新規	経費	区分 政策	헌 的経費	要求	上限	内		部局	3名	地域戦略部	3	課名	市	町協働課		課長名	小林	弥生
事業主	上体	市町・自	治会など						自 治	事	務		実行予算	事業	R2	∓度	事業終了		
事業実施	拖方法	補助					事 務区分				事業区分	•	補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R6	年度
補助	率	県10/	´1 0				- "		法定员	受託事		╻	その他	年度	0	年	度)		
区分	事	 業費	国原	ŧ	起	債	そ(の他		_	般財源			国月	車、その他財	源の	名称等		
予算額		3, 000									3, 000								
[予算額の推	移等]																	(単位	: 千円)
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2 年度							実績等を	と踏まえた	2年度の変	更点			
当	首初 予 算	額の推	移			3, 000													
2 月	現 計 予	算額の	推 移																
	決 算 額	の推移																	
前年度ま 主な増減 - - - - - - - - - - - - - - - - - -	越理由																		
[1909(10]]	区	分		30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	4 4	年度				目標・	指標の考え	え方・積算根	拠			
成果指標		,,	(目標)		171475 1 72			•	1 /2				H	10 lykes 13 /	E/J RSFIA	.,~			
活動指標	実施地区数	数	(目標) 実績			(1)	(2)			目標地	区数:3地区	<u> </u>							
他県の	状況								関	引連事業(役割:	の有無・ 分担	╻	無 有 事 役割分担)	≩業名					

市町協働による地域みらい応援プロジェクト

区分新規	経費区分	内		部局名	地域戦略部			課	名	市町協働課			課長名	小林	弥生		
事業主体 事業実施方法 補助率	市町 補助 県 1 / 2、市町	J1/2	事務			台 事 務 事 業 区 分 受託事務		•	実行予算 補 助 金 そ の 他		事業 開始 年度	R2 経過年数 0	年度 対 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4	年	
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 〔 政 策 〔)		関連す	る県の計	·画等	(ふくし	い創生	・人口減	少対策戦闘	各)			
事業目的] 高速交通体系の整 	備に向け、交流	ἷ人口の拡大を፩	図るため、各市町	∫の特色を活	かした	に独自に	企画す	る地方河	創生	のた	めの耳	収組みを	応援する	5.			
補助率県補助上限額市補助総額6	-	/2) 5円 町 2, ≡間)	レ拡大のための⊐ 500万円	二次交通整備	、移信	主・定住	き呼び	込む環境	境整	·備等(に向い	ナた市町	事業をえ	支援			
[受益者] 市町					-	[想定さ	 れる受益	 :者数]	_								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事第 (実績)		•	ī	方町との	連携状況							まか、運営を持 と協働して事業				
 [事業の評価]										!							
	前年度の実績			実績を踏ま	まえた令和2年度の変更点												
										I							

市町協働による地域みらい応援プロジェクト

区分	新規	経費	区分 政策	的経費	要求	上限	内		部局	3名	地域戦略部	3	課名	市	町協働課	ļ	課長名	小林	弥生			
事業主	· E体	市町				自 治	事			実行予算	事業	R2	年度									
事業実施方法 補助							事務区分				事業区分	•	補 助 金	開始	経過年数	ጀ	予定年度 (見直し年	R4	年度			
補助	率	県1/2	、市町1/2						法定员	受託事		╻	その他	年度	0	年	度)					
区分	事	 業費	国原	Į.	起	債	そ(の他		-般財源			国	車、その作	也財源σ	2名称等						
予算額																						
丁 异积		79, 500								79, 500												
[予算額の推	移等]	,			1				'									(単位	: 千円)			
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度							実績等を	と踏まえた	: 2 年度の	変更点						
当	首初 予 算	額の推	移			79, 500																
2 月	現 計 予	算額の	推 移																			
	決 算 額	の推移																				
前年度までの主な増減理由																						
[成果指標等	区			30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	4年度 目標・指標の考え方・積算根拠							算根拠							
成果指標			(目標) 実績		171470 1 12		0 1 12	•	1/2		各市町によって取り組む内容が異なるため、統一した目標数値の設定が困難であるが、採 択する事業ごとに設定していく											
活動指標	事業実施市	(D to)								計画を	を策定し、事業	きを推	推進									
他県の状況 石川県、富山県とも該当なし									関]連事業 役割	の有無・ 分担	╻	無 有 事 役割分担)	業名								

水道経営基盤強化支援事業

区分 新規	経費区分	内		部局名	地域戦略	部	課名	市町協働課			課長名	小林	弥生			
事業主体	県					自 治 事	務		実行予算	事業	R2	年度	事業終了			
事業実施方法	委託			事務区分			事業区分] 補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度	
補助率	_					法定受託	事務] その他	年度	0	年	度)			
福井県長期ビジョン	分 野〔	ともに進める	5 (総合力))	明本十二	リ の引張性							,		
における位置付け	政 策〔	「チームふく	くい」の行政運営)	関連する	県の計画等							J		
[事業目的]																
人口減少等に伴う [・]	サービス需要の	減少、施設等の	の老朽化に伴う更	新需要の均	等の諸課題に	こ対応するた	:め、	市町にお	ける水道	事業の経	Z営基:	盤強化を図	る。			
 [事業内容]																
市町の区域を超えた広域連携の推進方針等(経営統合、施設の共同設置、事務の共同処理などによる経費削減や組織体制の強化)を定めたプランを策定 ※H31年1月の総務省自治財政局長、厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官通知により、都道府県が令和4年度末までに策定するよう要請されている 「水道広域化推進プラン」として位置付け																
[受益者] 市町						[想定され	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	_								
	■ 無															
	□ 有 事第															
	(実績)	К-П														
前事業の有無・実績	(大順)					市	町との連携状況	兄		こにあたり	対会を開催し、	合意形	成を行			
									7.	う。						
[事業の評価]							_									
	前年度の実績			実績を踏	まえた	之 令和2年度	の変更点									
							1									

水道経営基盤強化支援事業

区分	新規	経費	区分 政策	ŧ的経費	要求	基準	内		部局名	፭	地域戦略部	3	課名	市	町協働課		課長名	小林	弥生	
事業主	主体	県		事務		自 治	事			実行予算	事業	R2	年度							
事業実施	事業実施方法 委託										事業区分		補 助 金	開始	経過年数	女	予定年度 (見直し年	R4	年度	
							区分		法定受	託事			その他	年度	0	年	度)			
区分	事	業費	国	車	起	債	そ(の他		一般財源				国	庫、その	也財源σ	2名称等			
予算額		11, 229		5, 614						5 615										
 [予算額の推	 [移等]	11, 220	<u>′1</u>	0, 017	<u> </u>															
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2 年度	実績等を踏まえた2年度の変更点													
<u> </u>	————	額の推	 移			11, 229														
2 月	 引 現 計 予	算額の	推 移																	
		の推移					_													
前年度ま 主な増減																				
上'み相が	<u>%-± ш</u>																			
[成果指標等	の推移]						1													
	区	分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4 1	年度 目標・指標の考え方・積算根拠											
成果指標			(目標)																	
/// II ///			実績																	
活動指標	水道広域化	ヒプランの領	_{第 定} (目標)			(1)														
/口 均] 口 示	八旦囚场		実績																	
												•	無							
													有 事	業名						
		l										(役	段割分担)							
他県の			富井県同様、r 富山県、長野県				より計画策	定	関連	車事業の 役割の	の有無・									
			11日示、 以377	ト・米たへ	, , _ , , , ,	T.AE				IX DIJ	/) IE									